

国立大学図書館協会総会 日程の見直しについてのアンケート調査結果

会員館の意見を基に日程・プログラムを一部変更し試行した第 61 回総会について、今後の検証のためにアンケート調査を実施しました（平成 26 年 7 月 30 日付け国大図協第 26-62 号にて依頼）。集計結果を公表いたします。

アンケート日程：平成 26 年 7 月 30 日～8 月 29 日

アンケート対象：国立大学図書館協会加盟館

回答数：81

1. 総会の日程について

1-1. 総会の時間（12：30～18：20）について

- a. 短い：8(9.9%) b. 適当：57(70.4%)
c. 長い：15(18.5%) d. 回答無し：1(1.2%)

1-2. (1-1 で短いと回答した場合にお答えください)

時間を延長する場合、当日の午前中を希望しますか。翌日の午前中を希望しますか

- a. 当日：3(37.5%) b. 翌日：4(50.0%) c. その他：1(12.5%)

<自由記述>

- ・全体会議（1）は午前中で終わらせ、その他のプログラムに時間を取った方がよいのではないか。
- ・今年度開催された「研究集会」（海外派遣報告、委員会成果報告、研究集会テーマ報告）については、少し時間が短かったのではないかと考えます。そういう意味で総会の時間が短いという回答をさせていただきました。延長する場合の希望は特にありませんが、翌日開催される人材委員会が担当するマネジメントセミナーとの関係も整理しながらご検討いただければと思います。

1-3. (1-1 で長いと回答した場合にお答えください)

時間を短縮するとしたら、どれぐらいの長さをご希望ですか。

<自由記述>

- ・10時頃開始し、17時頃には終わるように。
- ・12：30～17：00
- ・12：30～17：30
- ・13：00～17：30
- ・13：30～17：30 12：30 開始が一般的か？疑問。
- ・13時半開始、17時半終了、それ以上は翌日に回すのが妥当。
- ・18：00分までに終了
- ・4～5時間
- ・4時間まで
- ・4時間程度
- ・5時間
- ・セレモニー的なものが多すぎる
- ・遠方から来ると、12：30開始は昼食時間のことを含めて非常に中途半端で都合が悪い。せめて13：00開始になるようにしてもらえるとありがたい。
- ・可能であれば、5時間以内にしていただきたい。
- ・全体で4時間程度が望ましい。

2. 総会の内容について

2-1. ワークショップから研究集会への変更について

ワークショップを研究集会に変更し単一会場で実施しましたが、これについてのご意見をおねがいします。

a. 良かった : 59 (72.8%)

b. 普通 : 19 (23.5%)

c. 良くなかった : 3 (3.7%)

<自由記述>

- ・これまでのA・B2つのワークショップでは、会場移動の時間及び双方の公表時間の節約となっており、良かったと思う。ただし、ワークショップであっても、全体で行なえば同様である。
- ・やり取りを聞いていて、全国の附属図書館の間での取り組みが十分共有されていない印象を受けた。分かれてのワークショップの方を経験していないので何とも言えないが、情報共有という点では全体で行う研究集会には十分意味があるように思う。
- ・移動がないのは楽
- ・一つのテーマに絞ったことで、より充実した内容になったと考える。
- ・会議の効率はよくなったが、時間が足りなかった
- ・今回のテーマが悪かったわけではないが、議論すべきテーマは他にもあると思うので、選択の余地がある方がよかった。
- ・参加者全員で課題や情報の共有を図ることができる
- ・初参加なので判断できない
- ・前回2つに分かれていたテーマ報告が単一に変更され、他の報告事項と共に、事業の活動成果や事例に的を絞った企画内容・進行となっていた。
- ・全員が共通のテーマで意見交換できたことは良かった
- ・全員が共通の情報を共有できたことは良かった
- ・全機関で情報共有し、課題について議論できたことが良かった。
- ・全体で同じ課題を共有できた
- ・単一会場で開催することで、協会としてのテーマ意識を踏まえた一貫性のあるプログラム作りが可能になったと思いますが、今年度は内容が散漫で、単一会場に議論を集約する意義が十分に満たされなかったように感じました。
- ・通常業務に関するテーマも多いので、公開可能な範囲でYouTube等での配信を希望
- ・同じテーマについて、皆で認識を共有できるから
- ・内容によろしいと思います。
- ・内容的には良かったと思いますが、1-2. で記述したように、時間が短かったと思います。

2-2. 海外派遣事業報告について

国大図協海外派遣事業参加者の報告を行いました。これについてのご意見をおねがいします。

a. 良かった : 48 (59.3%)

b. 普通 : 28 (34.6%)

c. 良くなかった : 4 (4.9%)

d. 回答無し : 1 (1.2%)

<自由記述>

- ・興味深くとても良かったと思う。
- ・研究集会のテーマに関連した内容であれば意義もあるが、そうでなければ、報告発表には別の機会を設けてはどうか。今年の短期研修では派遣者2名による報告コマを各45分予定しているようだが、総会で短時間の形式的な報告をしてもらうよりは良い取り組みだと思ふ
- ・国大図協の補助を受けている以上、報告するのは義務と考える。
- ・紙面による報告で十分であると思われる。
- ・資料配布を希望します
- ・事業参加者にとって良い機会となり、今後の事業実施内容へ意見を反映していけると考える。
- ・時間がタイトなので報告書添付程度で良いと思う
- ・時間的都合もあるが、各報告にもう少し時間を取らせてあげた方がいいと思われた。少しあわただしい感じがした。
- ・初参加なので内容が十分理解できなかった
- ・当事者自身の報告ということで、文書による報告よりも興味深く拝聴でき、時間配分も適度で良かったと思います。
- ・内容的に書面で十分
- ・派遣事業で得た情報・知識の報告発表という趣旨だと思われたが、館長にとっては内容が細かすぎるのではないか。実務者を対象に詳しく報告・意見交換する別の機会を作った方がよい。
- ・発表者の励みになると思う
- ・弊学の職員も参加させたいと感じました
- ・報告のみで終わったが質疑の時間があれば良かった。
- ・報告時間が短く、各研修内容と意義が十分に伝わらなかったように思われた。管理者層への事業報告であれば、報告件数を絞っても良いと考える。
- ・訪問の事実報告はもっと簡略にし、協会として取り組むべき課題の提案等をもっと強調しても良かったように思う。各報告者に対し、研究集会で報告する意義等について、事前に周知を図るのが望ましい。
- ・明示は避けませんが、海外派遣事業の趣旨を必ずしも理解できていないのではないかと疑念を抱く報告があったように見受けられます。また、「大学図書館研究」に報告が上がる予定ではあるかと存じますが、手持ちの発表資料がほぼなかったのも好ましくないように思われます。国大図協へのフィードバックという意識をもう少し強く持っていただく必要があるように感じましたが、いかがでしょうか。
- ・旅費を協会が負担しているので、報告は必要。報告に際しては、できればA4・1枚程度でもよいので、概要を記した資料を配布した方がよい。話だけだと聞きもらしたり、印象に

残りにくい場合がある。

- ・内容的には良かったと思いますが、1-2. で記述したように、時間が短かったと思います。

2-3. 国大図協委員会成果報告について

国大図協委員会の活動成果の報告を行いました。これについてのご意見をおねがいします。

- a. 良かった : 31 (38.3%)
- b. 普通 : 44 (54.3%)
- c. 良くなかった : 5 (6.2%)
- d. 回答無し : 1 (1.2%)

<自由記述>

- ・あまり、口頭報告である必要性を感じない。書面での報告で十分ではないか。
- ・これも時間が足りなかった
- ・少し短かった
- ・どれも分かりやすくまとめられており、特にコメントはありません。
- ・委員会の活動成果を共有する場として必要
- ・委員会の調査検討に基づいて全体の議論を喚起していくことは協会の中核的な活動であり、本項は重要と思います。ただし、全ての委員会が毎回報告を行う必要はなく、研究集会テーマに沿って報告の有無を設定するのがよいと思います。
- ・一委員会のみの報告しかなく、全体像がかえって不明瞭になったように感じた。
- ・研究集会テーマの中で、必要であったか疑問である。
- ・先進的な取り組みのとりまとめ内容となっていた。
- ・総会で協議する事項がなければ、報告文書を配布するだけでよいと思う
- ・内容的に書面で十分
- ・日頃の活動や通知で細かく説明すれば済む内容であった。
- ・必要なことだとは思いますが、海外報告かテーマの時間に回してもいいかと。資料配布だけでも可では。
- ・理事会→地区総会→各館の報告でよいのではないか

2-4. テーマ報告の企画・進行について

テーマ報告では、単一のテーマで実施しました。これについて、企画内容・進行等に関するご意見をお願いします。

- a. 良かった : 55 (67.9%)
- b. 普通 : 20 (24.7%)
- c. 良くなかった : 5 (6.2%)
- d. 回答無し : 1 (1.2%)

<自由記述>

- ・2つに分かれて実施するよりも単一テーマの方がいいと思われる。
- ・テーマについては、時代に適応した内容だったと思われるが、発表内容に得られる内容がなかった。
- ・テーマ設定は非常に良かったと思いますが、今後実りあるものにするには時間の確保が必要かと思います。
- ・一つのテーマに絞ったことで、より充実した内容になったと考える。

- ・会場の確保や当日の進行と全体での情報共有を考慮すると、今後も引き続き全員で取り組める単一のテーマを企画することが良いと思う
- ・各大学の皆様の大きな関心事項を取り上げられ、議論するという試みは大変素晴らしいものと思いますが、全体的に参加者の背景や共通理解にずれが大きく、あまり議論が噛み合っていない印象を受けました。可能であれば、事前に報告者の発表内容を参加館の皆様にも共有いただき、何について議論したいのかを明確にしておくことにより深まった議論が可能になるように感じます。
- ・活発な意見交換があって良かったが、これからもEJだけではワンパターンになってしまうのではないかな。
- ・関心の方向は参加者によって異なると思うので、複数のテーマを取り上げた方がよかった。
- ・企画としては、各大学での重要な検討事項についてのタイムリーな内容で、事例報告とディスカッションという構成も良かったと思う。
- ・企画を一つに絞るとすれば、電子ジャーナル以外は考えにくい。ただ、その他にも大学図書館をめぐる課題はあるので、その他の課題について全体で意識を共有できなかったことは残念。
- ・共通の問題点であり参考となった。
- ・今回のように理事会への付託事項につながるような企画内容を行うのが良いと思う
- ・今回の内容は、各大学が問題視していることでもあり、共通の課題意識を出席者が共有できたものと思われる。今後は企画内容により、単一もしくは2つのテーマで区別されることが望ましい。
- ・今回は、大学図書館の喫緊の課題である「電子ジャーナル」がテーマで大変参考となった。次年度以降も、大学図書館が抱える様々な課題をテーマに単一で実施願いたい。
- ・山田部長の本音の発言等が大変参考になった。
- ・時間が足りない
- ・他大学の状況を知ることができ、業務の参考になった。大学の規模のバラエティが配慮されていたこともよかった
- ・単一のテーマ設定を行うことに賛成ですが、それをこの「テーマ報告」枠に閉じさせず、研究集会の全体を貫くテーマとし十分な議論を行うのがよいと思います。
- ・電子ジャーナルの安定的な提供という、まさに各館が困っているテーマで実施していただいたので大変参考になった。
- ・同じテーマについて、皆で認識を共有できるから
- ・内容的に書面で十分
- ・姜尚中先生のお話はそれなりに面白かったですし、全体状況を考える一助になったことは確かですが、それを補う具体部分が十分ではなかった感じがします。もっといろいろな大学の工夫を紹介して情報共有に力を入れていけば、もっとよかったのではないかな、という印象は残りました

2-5. テーマ報告の長さについて

研究集会テーマ報告に割り当てられた時間についてのご意見ををお願いします。

- a. 短い：17(21.0%) b. 適当：55(67.9%)
c. 長い：7(8.6%) d. 回答無し：2(2.5%)

<自由記述>

- ・ 1人の報告時間を短縮するか、報告者の人数を減らした方がよい。
- ・ 30分ほど切り詰めるなら、ここかなと思います。
- ・ テーマにもよりますが、今回のテーマについては、さらに議論を深めたかったと思います。
- ・ 委員会報告の時間をこちらに割り振るとよい
- ・ 各大学の注目度の大会テーマだということでもあり、もう少し時間をとった方が良かったか。
- ・ 研究集会の事例報告で使用したプレゼン資料やディスカッションでの質疑応答の記録等については、協会のホームページにアップしていただければと思う。
- ・ 講演分、あるいは発表者1人分短くても良い。
- ・ 今回のテーマにおいては「やや時間が短い」と思われた。今後も設定されるテーマにより必要となる時間は違ってくるとも考えられるが、「90分」以上は時間を割り当てた方が、前半での進行遅れへの対応もとれると思われる。
- ・ 今回は1時間5分であったが、ディスカッション等を含めても50分から1時間以内の方が良い。
- ・ 今少し討議や意見交換の時間がほしいところである。
- ・ 少し短いようにも感じた。
- ・ 総会の他の部分について、配布資料を確認するだけの報告の時間はできるだけ短縮し、研究集会で意見交換する時間を十分に確保したほうが良いと思う

3. その他、ご意見・ご要望をご記入ください。(自由記入)

- ・ [会場について]今回の会場は、建物の設備が老朽しており、空調も制限があり長時間の会としては、耐え難い環境であった。次回からは配慮願いたい。
- ・ 「1. 総会の日程について」に関しては、協会として総会で何をしなければならないのかが重要であって、現在の日程で、しなければならないことが納まらないのであれば、仮に長いという意見が大半であっても時間を延ばさざるをえませんし、先に時間ありきで、無理に企画を入れているのであれば、時間短縮を検討すべきと考えます。「2. 総会の内容について」に関しては、各企画を深慮していただいていることに対して敬意を表します。また、ワークショップが研究集会に変更され、参加者全員が同じ内容を共有できることに対して賛意を表します。なお、各企画の内容については、館長や部課長の集まりで行うべきものという判断であれば、内容の良し悪しに関わらず、時間を確保すべきであって、特定の年の企画内容の良し悪しを問うことは必ずしも適切ではないと考えます。ただし、それぞれの企画を実施したものの、館長や部課長の集まりには不相応だったという判断であれば、別の機会を設けるべきと考えます。

- (a) 2-2. 海外派遣事業報告について
 - 資料の配付があると良かったと思う。
- (b) 2-5. テーマ報告について
 - いずれの大学でも関心事ということもありタイムリーで充実した内容だったと思う。
- (a) 会計報告や事業報告等、事前に資料を配布しておけば総会での読み上げは省略してもよいのではないか。
 - (b) 12:30 ~ 18:20 という変則的かつ長時間の日程でも時間が足りないのであるから、
 - 1 日目 13:30 ~ 17:30 の間に協議事項・報告事項(各委員会報告含む)・表彰等を行い、
 - 2 日目 9:00 ~12:00 に研究集会等を実施することでいかがか。
 - (c) マネジメントセミナーは2 日目午後を実施するか、研究集会の中身を検討することで廃止を検討してはいかがか。
- (a) 今年の総会は、多くのことが短時間に詰め込まれていた印象がある。
 - (b) 会場に余裕がなく、座席が窮屈だった。メモを取るためのテーブルが小さく、使い勝手が悪かった。
- いつも感じることですが、このような総会に実際図書館の事務として働いている現場の職員も多数参加できるようにすれば、それぞれの現場でもこの総会での議論を踏まえて、自分の仕事に生かせるのではないかと思います。
- テーマ設定は、地区意見の単純多数決でなく、各委員会の課題意識を元に理事会等で主体的に行うのがよいと考えます。
- テーマ報告を単一のテーマで実施することは、国大図協全体で問題意識を共有しアクションにつなげていくにあたって有効だと思われる。今日の消費税に関する要望の声明もそこから生まれたのではないか？ 今後も同じ方式で継続していただきたい。
- マネジメントセミナーを行わず、総会の研究集会を翌日午前に行ってはどうでしょうか。
- 会場内の温度が高く節電対策は理解するが、熱中症になるくらい疲れた。参加者を会場いっぱいギュウギュウ詰めにしなくてもよいのでは。
- 研究集会（ワークショップ）及び翌日のマネジメントセミナーも含め、以下のように変更されることを提案します。
 1. 日程等
 - 1 日目：13:00~13:30 受付
 - 13:30~17:00 総会
 - 17:30~ 情報交換会
 - 2 日目：9:00~12:00 研究集会・マネジメントセミナー（必須）
 - 13:00~17:00 同上（任意）
 2. 理由
 - (1) 総会には館長及び部課長が出席する必要があるが、研究集会・マネジメントセミナー、海外派遣報告及び委員会報告の内容によっては、館長・部課長に限らず実務担当者が適している場合もある。
 - (2) 今回の研究集会では報告のみで実質的な議論をする時間が確保されていないか

った。

(3) 海外報告や委員会活動報告、さらには研究集会テーマ報告などは、報告よりもそれを踏まえたディスカッションにウェイトを置くべきである。

(4) 以上より、館長・部課長の出席が必須の部分と任意出席の部分に分けて実施されることを要望します。

- ・研究集会では館長だけでなく、そのテーマに詳しい専門職員の話も聞きたい。
- ・研究集会のテーマ報告となった電子ジャーナル関連については、各大学共通の課題となっているので、今後、新たな契約モデルの検討や長期的整備方針の検討が急がれる。JUSTICE (大学図書館コンソーシアム連合) を中心にエルゼビア社等に対する方針を検討してもらいたい。
- ・研究集会のテーマ報告の時間が短かったと思います。総会の開催時間を午前(10時頃)からにすると、もう少しまとまった議論ができるのではないかと思います。
- ・研究集会のプレゼンテーションや配布資料を国立大学図書館協会のウェブサイトで電子ファイル(例: pdf)で保存し、再利用できることが望ましい。また、必要に応じて研究集会をUSTREAMで加盟館に送信することやビデオに録画し、国立大学図書館協会のウェブサイトで利用できるようにすることを検討していただきたい。
- ・国大図協総会は、特に新任館長や非図書系管理職に大学図書館の最新状況を学習していただく貴重な機会と捉えているので、全体的にそのことを意識した内容にしていただきたいと考えている。
- ・今回、総会会場の設備が古く、着席時の疲労感が強かったのもあるが、出来るだけ、簡潔に総会を運営していただきたい。12時半から開始という中途半端な時間では、昼食を取りにくいと周りの参加者からも聞いている。そのため、13時から17時半ぐらいの範囲での開催であれば、昼食も取りやすく、遠方であっても帰宅が可能になる人も増え、良いと考える。
- ・初参加のため過去と比較できなかった。
- ・全体に日程が窮屈であり、短い時間の中に多くのプログラムを詰め込みすぎている。事務的内容は最小限にして、図書館運営に資するテーマでの報告や議論の時間をもっと長く取った方がよいと考える。
- ・全体のプログラムのうち、4. 文部科学省所管事項説明 については時間が足りない、という印象を受けました。消費税の問題や大学に今後期待すべきこと、といった、今後の大学図書館の方向性を定める上で重要な内容を含んでいるように思いますので、より詳細かつ正確な理解のためにも、ご配慮いただくと良いように考えます。ご検討いただければ幸いです。
- ・総会の運営については、会場の確保、運営費及び人員配置など当番館の負担は大きいと思いますが、できればもう少し広い会場での開催が望ましいと考えます。
- ・総会の流れがスムーズで、内容も充実していたと思います。
- ・日程・プログラムとしては、協会の現下の重要テーマに絞り込んで、協会全体で集中的に審議・協議できるようになったと思う。

- ・連携・推進会議のもとには「大学図書館コンソーシアム連合運営委員会」「機関リポジトリ推進委員会」「これからの学術情報システム構築検討委員会」の3つの委員会がある。総会の場で毎年「大学図書館コンソーシアム連合運営委員会」だけ報告時間が設けられていることに違和感を感じる。